

令和4年秋季駐車場研修会（姫路・神戸方面 10月13日(木)、10月14日(金)）

## 参加レポート

株式会社東京国際フォーラム  
取締役  
歌川 貴

新型コロナウイルス「第七波」が落ち着きを見せる中、本年6月の新潟に続き、この度は関西方面へお邪魔して参りました。全国各地から多数のご参加があり、竹歳団長以下46名の研修会となりました。

### □1日目(10月13日木曜日) .....

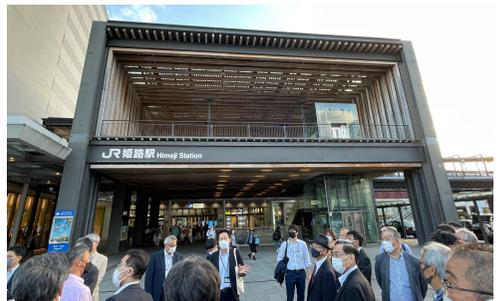
#### <視察>

ホテルモントレ姫路(姫路市都市局様の講演)→姫路城(見学)→姫路駅前・大手前通り(視察)→灘菊酒造(見学及び意見交換会)→ホテルモントレ姫路(宿泊)

秋晴れの下、まずホテルモントレ姫路に集合し姫路市様より姫路駅前再開発についてのレクチャーを受けました。講演の内容は別稿に譲りますが、行政マンとして様々な利益代表と膝詰めで議論し、たとえ時間が掛かったとしてもコンセンサスを見出す努力には頭が下がる思いが致しました。

続いて一同はバスで姫路城の見学に向かいました。大手門から入場し天守閣をバックにまずは記念撮影を済ませ天守閣内部へ向かいます。ここでも姫路市役所の方にご案内を頂きました。世界文化遺産、かつ国宝5天守閣の一つである姫路城。遠くから眺める限りとても美しいお城ですが、内部に入ってご説明を伺うと西国に睨みを利かせる徳川幕府の城塞としての機能が大きいことに驚かされました。天守への道は何度も折れ曲がり、また数々の頑丈な門に隔てられており、この防御網を潜り抜けて天守に到達するのは到底無理だと思われました。元気な修学旅行生はやすやすと階段を上る一方こちらは必死の思いで最上階に到達しましたが、天守からの眺めは360度のパノラマで大感激でした。苦勞して登った甲斐がありました。

次に一行は姫路駅前まで徒歩で戻り、駅二階の姫路城展望デッキに登りました。ここは駅前再開



発によってできたシンボリックなスペースで、正面に姫路城の遠景が望めるデッキです。上下左右に壁があるので額縁効果により姫路城がくっきりと見えます。目線の高さを考えたなかなか粋な作りでした。

次は一日目の最後の訪問地、灘菊酒造です。小ロットで手作りというお酒造りに対する真面目な姿勢が感じられる蔵でした。生産量が少なく地元での消費が中心のようです。蔵の見学の後はお待ちかねの試飲タイムとお土産選び。レジの前には長蛇の列ができていました。

初日の夕食はここ灘菊酒造の酒蔵を改造したレストランで頂きました。竹歳団長の乾杯の挨拶をスタートに美味しいお食事と灘菊酒造のお酒を賞味しつつ各テーブルで活発な意見交換が行われました。

最後に、中央地所株式会社代表取締役社長戸嶋様より中締めのご挨拶があり、来年の全日本駐車協会総会が福岡で開催される旨、お話がありました。



## □2日目(10月14日金曜日) .....

<視察>

ホテル出発→「渦の道」(見学)→「道の駅うずしお」(昼食)→北淡震災記念公園→神戸国際会館→神戸三宮阪急ビル展望レストラン→新神戸駅(解散)

二日目も初日と同様に朝から素晴らしい快晴でした。ホテルをあとにして今回の研修会の目玉とも言える鳴門の渦潮見学に向かいます。渦潮はいつ行っても見られるものではなく、干潮と満潮の時間帯を選ばないといけないそうです。そのため今日は少し早起きしての出発となったとのこと。まず姫路市から明石市に向かい、有名な明石海峡大橋を渡って淡路島へ渡ります。次に淡路島を丸ごと縦断して遠路はるばる徳島県鳴門市まで行く行程です。陸路で2時間近いかなり長い道のりになるので、途中淡路サービスエリアにて休憩しました。ここから明石海峡大橋越しに見る本州の眺めは好天のおかげもあって大変素晴らしかったです。



さて渦潮です。大鳴門橋を渡っているときに車窓から「見えた!」という声も上がったようですが自分が覗いたときは既に渦潮は消えていました。渦潮は渦を巻き始めてからせいぜい10数秒で消えてしまうそうです。いよいよバスを降りて「渦の道」へ。ここは大鳴門橋の橋桁の下に作られた渦潮見学通路です。ところが、、肝腎の渦が巻いていないのです。海が白く波立

っではいるものの渦を巻いているようには見えませんでした。干潮満潮の時間にあわせて見学に来ては必ずしも渦を見ることができない訳ではないと慰められました。それにしても残念でした。自然現象ゆえ仕方がないそうです。

モヤモヤした気分のまま来た道を引き返し、淡路島に戻ったところにある道の駅うずしおにて昼食です。地元名産の鯛尽くしの豪華なランチでした。食後は兵庫県から頂いた3,000円のクーポン券を使ってのお土産選びです。道の駅の売上に多大な貢献を致しました。

次に向かったのが北淡震災記念公園です。1995年1月17日阪神淡路大震災で生じた野島断層がそのまま保存されている施設です。渦潮とは違った意味で自然の脅威をまざまざと感じさせられ、皆さん押し黙って見学致しました。



さて本州に戻り神戸三宮に向かいます。研修会の最後を飾るのは神戸市様による三宮再整備についての講演です。神戸も震災で大きな被害を受けた土地ですが震災復興と併せて三宮の再開発の経緯・現況を伺いました。講演に続き神戸市様のご案内で三宮を実際に歩いて視察です。待ちゆく人々の雰囲気・ファッションがとてもハイカラですが神戸だなと感じました。神戸三宮阪急ビル最上階は美しい神戸港と六甲の山並みの両方を眺めることができる素晴らしいレストランでした。空港組はここで解散。新幹線組は新神戸駅まで移動の上解散し秋の研修会も無事終了となりました。ご参加の皆様お疲れ様でした。

